

令和 7 年いすみ市議会第 3 回定例会一般質問通告一覧

通告 順序	議席番号及び議員名	質 問 事 項
1	6 番 元吉 栄一	1 農業問題について いわゆる「令和の米騒動」の影響により米作りの担い手確保が大変重要となっております。また、農家の減少を食い止めなければ耕作放棄地が増え、有害鳥獣が増えてしまいますので、以下の質問をします。 ①稲作の新規就農について、どのように取り組んでいるのか伺います。 ②農業の継続や新規参入を促進するために、不要となった農機具を有効活用する「農機具バンク」を行う考えはないか伺います。
2	8 番 魚地 展弘	1 第 3 期いすみ市子ども・子育て支援事業計画について ①第 3 期いすみ市子ども・子育て支援事業計画におけるアンケート調査で、未就学児や小学生の保護者から遊び場の充実を求める声が多数寄せられている状況ですが、この結果を踏まえ市としてどのように対応・検討を進めていくのか伺います。 2 生成 A I 導入について 近年、全国の自治体において、生成 A I の導入が進められており、職員の業務効率化や住民サービスの向上、地域課題の解決といった効果が期待されています。また、教育現場においても教師の負担軽減や生徒の学習効果向上への貢献が期待されています。そこで、以下について質問をします。 ①市役所内において、生成 A I の導入をどのように捉え考えているのか伺います。 ②教育現場において、生成 A I の導入をどのように捉え考えているのか伺います。
3	4 番 浅野 照久	1 市内小中学校におけるエアコン設置の現状について 市内の小中学校において、普通教室へのエアコン設置は全て完了していると伺っています。一方、特別教室については、多くの学校で未設置の状態が続いていると認識しています。そこで、特別教室へのエアコン設置の現状を踏まえ、以下の点について質問をします。 ①各学校からは、特別教室のエアコン整備に関し、具体的にどのような意見または要望が寄せられ

通告 順序	議席番号及び議員名	質 問 事 項
		ているのか伺います。 ②特別教室のエアコン未設置が、教育環境や児童生徒の健康面に及ぼす影響を考慮し、今後、計画的に整備を進めていくのか伺います。 2 いすみ鉄道の現状について いすみ鉄道の脱線事故による運休から、間もなく1年を迎えますが、地域住民の生活や地域経済に対し多大なる影響が続いております。このような状況を踏まえ、以下の点について質問をします。 ①復旧工事の進捗状況と工事期間について伺います。 ②いすみ鉄道の代替えとして代行バスが運行されていますが、その状況について伺います。
4	13 番 井上 ひろみ	1 市長の基本姿勢について ①今年には戦後 80 年の年です。二度と戦争の惨禍を繰り返さないという決意が憲法に明記されています。市長は常々平和を守る立場からの発言をしてくれています。戦争の風化を防ぎ、次世代に継承していく事が平和を維持するうえで重要と考えますが、市長の見解を伺います。 2 農業施策について ①昨年夏頃から米の価格が上昇して農家は少しやる気になってきました。その後政府により備蓄米が放出され安い米が売られるようになり、農家は米の価格がまた下がるのではないかなど不安に思っています。農家が安心して米作りができる農業施策について、どのように考えているのか伺います。 3 夷隅川土地改良区のポンプ故障について ①3月下旬に夷隅川土地改良区で利用している夷隅川から水を汲み上げるポンプのモーターが故障する事故が起こりました。市、県、国において対応してもらい、ほぼ水が回る状態になりましたが、十分届いていない地域もあります。農家は水がまだ不十分な場所の来年の作付けや今後の修理代の負担について不安があると話しています。農家が安心して耕作を続ける事ができるように市が支援を行う考えはないか伺います。

通告 順序	議席番号及び議員名	質 問 事 項
5	3 番 峰島 正広	1 市内中学校の制服購入に対する補助制度の創設について 近年、少子化や物価高騰が進む中で、子育て世代の経済的負担を軽減し、これからも更にいすみ市が子育てしやすく安心して暮らせるまちとして、選ばれるための環境整備が求められております。その中で、保護者の方々から特に多く寄せられるのが、「子どもの中学校入学時にかかる制服代が高くて大変だ」という声です。こうしたことから制服購入費用の一部を補助するなどの支援が必要ではないかと考えます。そこで以下の項目について質問します。 ①現在、市内中学校の制服購入にかかる平均的な費用について、市としてどの程度把握されているか伺います。 ②制服購入に伴う保護者の経済的負担について、市としてどのように認識されているか伺います。 ③子育て支援・定住促進の観点から、制服購入費用の一部補助制度の創設について検討する考えはあるか伺います。 ④他市の具体的な補助金制度の事例について、市としてどのように把握しているか伺います。 ⑤補助制度に限らず、リユース制服の活用支援や貸与制度、リサイクル活動促進についての見解を伺います。 ⑥今後の子育て支援施策の中で、制服購入支援をどの様に位置付けるのか、市のビジョンを伺います。 2 避難所の環境改善について 大規模災害時における避難所環境の改善は、とりわけ「TKB（トイレ・キッチン・ベッド）の迅速な配備や、国際的な人道支援の指標である「スフィア基準」の導入が重要視されております。そこで以下の項目について質問します。 ①昨年 12 月に改定された避難所に関する取組指針・ガイドラインにおいて、スフィア基準に基づき「トイレを 20 人に 1 基」と追記されたが、市の避難所トイレ基準は何基なのか。また、基準の取組の見解を伺います。 ②スフィア基準に基づく入浴施設の基準の取組の見解を伺います。 ③令和 6 年第 3 回定例会の一般質問においてトイ

通告 順序	議席番号及び議員名	質 問 事 項
		レカーの導入検討をお願いしましたが、その後の進捗について伺います。 3 大規模災害時の受援計画に基づく訓練について 令和6年能登半島地震を踏まえた災害対応の在り方について、国からの報告がありました。そこで、以下の項目について質問をします。 ①国や地方自治体等における災害応急対応について、孤立が想定される地区での関係機関が連携した訓練及び受援計画について職員への計画内容の周知や受援計画に基づく訓練の実施等について、本市での取組はどの様になっているのか伺います。
6	2 番 高原 和江	1 防災アプリについて 人口減少や高齢化が進む中であって、自助・共助・公助が一体となった地域防災力の向上が、これまで以上に求められています。市では、昨年10月より新たに防災アプリの運用が開始されました。防災アプリは、単なる「通知ツール」にとどまらず、人と人、人と地域、人と行政をつなぐハブ的な役割を担い、地域の防災力の向上に資する重要なツールの1つであると考えます。そのため、一層の活用推進と住民の防災意識向上につながる運用が必要だと考え、以下の3点について質問します。 ①現在の防災アプリの利用状況について伺います。 ②防災アプリ活用推進のために行っている市の取組を伺います。 ③今後、住民からの通報や情報提供を受け付ける機能など、アプリへの追加機能の予定について伺います。
7	10 番 山口 朋子	1 保育所トイレの環境整備について 保育所において和式トイレの施設があり、保護者から子どもが和式トイレを使えず、トイレを我慢してしまうとの声を聞きました、そこで、トイレの環境整備について質問します。 ①保育所トイレの洋式化について、市の現状を伺います。 ②トイレの乾式化について、乾式床は清掃がしやすく菌の繁殖も抑えられます。保育所においても洋式化と併せて乾式床への改修を進めるべきと考えますが、市の見解を伺います。

通告 順序	議席番号及び議員名	質 問 事 項
		③オープントイレの導入について、保育の質を高める観点から、オープントイレの導入についても検討すべきと考えますが、市の見解を伺います。 2 アピアランスケア助成事業導入について がん治療を受ける市民の方から、医療用ウィッグの助成事業をお願いしたいとの声を聞きました、そこで、アピアランスケア助成事業について質問します。 ①県内自治体の導入状況について伺います。 ②がん患者の外見ケアの必要性をどのように認識しているのか伺います。 ③市においてもアピアランスケア助成事業を創設する考えはあるか伺います。
8	11 番 田井 秀明	1 パワーハラスメント防止について 平成30年3月の第1回定例会と令和2年12月の第4回定例会の一般質問においてパワーハラスメントを取り上げました。そこで、以下の質問をします。 ①以降、パワーハラスメントの実態はどのようなものがあり、防止効果が上がっていると評価しているのか伺います。 ②当時、パワーハラスメントを受けた当事者に事情を聴いたとき、訴えると居づらくなるとか、人事で不当に扱われるのが心配とか、定年退職時に再任用してもらえなくなるとか、希望の部署に配属してもらえなくなる不安があるという声がありましたが、そのような不安に対する対策はどのようにしているのか伺います。 ③令和2年12月の質問時には、特別職と管理職を対象にしたパワーハラスメント防止等の講習会に特別職はスケジュールが合わず参加しなかったと答弁がありましたが、なぜ特別職は参加しなかったのでしょうか。また、そのことについて、自身でどのように評価しているのか伺います。 2 新型コロナウイルス感染症のワクチン接種公費助成について 新型コロナウイルス感染症による死亡者は5類に移行してからの1年間で3万2576人。同期間中のインフルエンザによる死亡者の約15倍です。死亡者のうち97%は高齢者です。特に要介護高齢者

通告 順序	議席番号及び議員名	質 問 事 項
		や基礎疾患のある人にとって致死的なウイルスであることは５類になったからといってまったく変わっていません。一方で５類移行後、ワクチンの接種率は全世代で大きく下がっており、特に２０２５年３月時点で６５歳以上の高齢者における接種率は約２０％です。それに対し、インフルエンザワクチンの接種率は６０～７０％で推移し続けています。最近、新型コロナウイルス感染症のワクチン接種率が低いのはなぜかということについて、医療従事者と話していて、「ｍＲＮＡワクチンは危険」、「コロナは終わった」、「今年はワクチンは打たなくて良い」、「今年はインフルだけで良い」と判断する患者や家族がかなり増えた印象があるということでしたが、最大の要因は 特例補助が打ち切られ、概ね１万５千円となったワクチンの接種費用の経済的負担が大きいのと感じるようになったという点で一致しました。新型コロナウイルス感染症ワクチンも感染予防効果は減弱しているとはいえ、重症化・入院・死亡のリスクを概ね半減させることはエビデンスが語っています。患者本人も家族も価値観が同じで、これまで十分に生きた、死ぬのは怖くない、新型コロナウイルス感染症で死んで本望というなら、マスクの着用もワクチン接種も勧めはしません。しかし、感染してから重症化を心配して、抗ウイルス薬の処方を望むというのなら、それよりは、たとえ多少の副反応があっても事前のワクチン接種の方が低コストで安全です。抗ウイルス薬は高額で、薬価改定で安くなったとはいえ５日間処方で８万６５９６円。１割負担なら約９千円で済みますが、残る９割（７万７９３６円）は健康保険基金という公費負担することになります。夏の流行が終わると、冬の流行に備えてワクチン接種の季節が来ます。 そこで、以下の質問をします。 ①市として新型コロナウイルス感染症ワクチンの接種がもう少し進むように、接種を希望する６０歳～６４歳までの重症化リスクの高い人と６５歳以上の高齢者を対象に、ワクチン接種の公費助成を拡充する考えはないか伺います。

通告 順序	議席番号及び議員名	質 問 事 項
		3 マダニ媒介の重症熱性血小板減少症候群（SFTS）感染症対策について 重症熱性血小板減少症候群（SFTS）は、原因となるSFTSウイルスを持つマダニに噛まれることで発症する感染症で、2011年に中国で世界で初めて報告されて以降、日本、韓国、台湾を含めた東アジアや東南アジア各地で患者の発生が確認されています。病原ウイルスを媒介するマダニは、固い外皮に覆われ、成虫は吸血前で3～8ミリ、吸血後は10～20ミリ程度になる比較的大型のダニで、森林や草地に生息しており、市街地や郊外などでも生息しています。そして、身近なペットのイヌやネコ、最近急増している害獣のシカやイノシシやアライグマなどに噛みついてウイルスを媒介し、日本で確認されている50種類弱のマダニのうち、フタトゲチマダニやキチマダニなど複数種類のマダニがウイルスを媒介していることが確認されています。ただし、その種類のマダニの中でもすべてがSFTSウイルスを保有しているわけではなく、ウイルス保有率はそのうちの数%とされています。また、草むらなど自然界で人が散歩したり休んでいると、そこにいるマダニが付着し、噛まれて発症することもあります。わが国では2013年に最初の感染者が確定されて以降、2020年までに毎年60～100名程度の感染が続き、2021年以降は毎年100名を超え、2023年は過去最高の133名の感染が報告されています。海外からの輸入感染症かと思いきや、DNA分析から従来より日本国内に存在していたと思われ、感染症として確定されるようになってきた件数が増えてきたものです。これまで人やペットの感染が確認されていた地域は、九州から東海地方にかけてでしたが、最近では6月に茨城県でペットのネコへの感染が確認され、7月には神奈川県で60代の女性がSFTSで入院し、千葉県では90代男性が死亡しました。マダニは、シカやイノシシやアライグマなどを媒介生物として運ばれますが、房総半島では既に大型のシカや爆発的に増えているキョンがマダニを運ぶことが懸念されています。加えて、イノシシやアライグマも日々見かける

通告 順序	議席番号及び議員名	質 問 事 項
		ことができるため、SFTS感染症にかかるリスクは一層高くなってきていると言えるのではないのでしょうか。そこで、以下の質問をします。 ①マダニ媒介の重症熱性血小板減少症候群（SFTS）感染症対策について、市としてどのように認識しているのか伺います。 ②媒介生物となる有害鳥獣駆除の現状について伺います。 4 大規模災害時の災害用トイレについて 大規模災害時に被災地で感染症が発生すると、様々な復旧復興に大きな影響が出ます。感染症対策のひとつとして、衛生問題すなわち大規模災害時のトイレの問題は、極めて深刻です。すべてのことを「下」から考え、構築することは極めて重要になります。そこで、以下の質問をします。 ①大規模災害時のトイレ問題の解決のために、平時は地下タンクが大規模な備蓄槽になり、大規模災害時には大容量トイレ設備となる災害用トイレを導入し、設置する考えはないか伺います。